THE WOMAN'S WEEKLY
毎週金曜日發行
第貳巻 第壹號

（大正四年十一月四日第三種郵便物認可
大正五年一月一日發行）

婦人週報

主要目次

◎大なる祈願……小橋三四子
◎智慧に目醒めよ……松本博士
◎下田歌子論 ◎象山の姪
◎新年懷を述ぶ……十二女史
◎カルタ會と男女交際……
◎蘇峰氏愛孃の發心……
◎風俗改良團の事業……薄田斬雲
◎小説「何處へゆく」……松本雲舟
◎女流作家エリオット

婦人週報社

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

謹賀新年
大阪市南區天王寺小宮町
廣岡淺子

謹賀新年
芝區高輪南町三十三番地
森村市左衛門

恭賀新年
東京牛込區市谷富久町
成女高等女學校
宮田修
同　多賀子

恭賀新年
東京麴町區四番町
三輪田高等女學校
三輪田元道
同　秀子

恭賀新年
仙臺市片平町六十一番地
岩崎知子

謹賀新年
赤坂區青山南町六ノ五十八
杉本鉞子

謹賀新年
赤坂區青山高樹町四番地
宇佐美敬子

謹賀新年
府下高田村雜司ヶ谷三七四
柳八重子

謹賀新年
伊豆三島女學校内
田代せい子
柳田絖子
細貝ぎん子

謹賀新年
名古屋市東區東門前町
三丁目丁清方
市川房江

謹賀新年
高知市金子橋
由比ふじ子

謹賀新年
麴町區飯田町六丁目
三松俊平

謹賀新年
芝區高輪泉岳寺前高岡方
引田久次郎

謹賀新年
靜岡市鷹匠町三丁目
梶正雄

謹賀新年
淺草區今戸町六十二
アンマ靴
ヨロイ足袋製造販賣
藤島源藏

謹賀新年
東京九段靖國神社側
大妻技藝講習所

謹賀新年
芝區車町六十八番地
シンガーミシン裁縫院内
近藤義九郎

謹賀新年
鎌倉扇谷
小山東助

謹賀新年
[illegible]在小幡
[illegible]田慎吾
同　貞子

謹賀新年
本郷區[illegible]
杉[illegible]賢三

恭賀新年
京橋區新[illegible]
明治[illegible]版所

謹賀新年
京橋區南紺屋町十四
福神製本所

謹賀新年
產科、婦人科醫院
土岐卯吉
下谷區稻荷町五十八
電話 下谷 二六八五

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

■讀賣新聞主筆 五來素川先生譯

菊半截判 挿畫五葉 （八版）

増補縮刷 未だ見ぬ親

定價壹圓 郵税八錢

■■■■■ 新年の好贈物

佛國文豪 エクトル、マロー傑作

原著二百五十版

清新純潔多趣味

歐米各國語に譯出

■■■[illegible] 空前の家庭小說

譯文流暢且簡易

大人小兒共通の讀物

十年來我家庭大歡迎

文部省認定圖書

東京京橋尾張町

警醒社書店

振替東京五五三

植村正久主筆

福音新報

毎週木曜發行

一部四錢五厘 郵税五厘

一月郵税共二十錢

一年二圓四十錢

◉本紙は日本に於ける最も權威ある基督敎の機關新聞なり

◉本紙は嚴肅なる信仰と清新なる趣味を鼓吹す

◉本紙は基督敎界の明星として常に其指導者たり

發行所 東京市麹町區中六番町

福音新報社

電話番町二三九二

振替東京四九二〇

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

院長診察月、水、木、金午前
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
麹町區三番町三十番地（市ケ見附内）
電、番六二番
東洋内科醫院
院長 醫學士 高田畊安

電話ちがさき二番
南湖院
相州茅ケ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後、入院診察後應需

實利主義の年始贈答品!!
最も適當なるシンガーミシン會社製造の
三十番ミシン（俗稱フジミシン）
定價十二圓——特價七圓五拾錢也
御購買後も他のミシンと御交換致します。
種類及定價表の目録御望みの方は婦人週報社へ直接御申込を乞ふ
婦人週報社代理部

◎産婦人科◎小兒科
宅診午前 往診午後
病室、産室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長 女醫 吉岡彌生
東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地
東京至誠病院
電話番町二三五七

入院應求
院長ドクトル 淺田繁太郎
淺田小兒科醫院
芝區田村町十六
（電話芝三三二七番）

あかくはれ、くづれていたむのがすぐなほる
しもやけの藥
陸軍常用 石樟膏
毎年の大好評故是非御試しあれ
藥價金十錢 送料金二錢
（三錢郵券四枚封入申込あれば直ちに發送）
製造發賣 小石川區高田老松町十七番地
目白藥局
振替東京三一六九二

◎小兒科 ◎内科
小石川區高田老松町十二（細川侯邸前）
千葉醫學士 清水榮

産科 婦人科 小兒科
東京府内藤新宿番衆町卅一番地
女醫 井出茂代
電話番町三六七七番

齒科
ドクトル 富田貞一
日本橋區高砂町六
（久松町停留場より西一丁）
電話浪花五四〇五

眼科一般
診察時間毎日午前午後
入院設備アリ
吉野眼科院
小石川區高田豊川町
（女子大學校前）

古本專門買入
小石川區大塚
御報參堂
山加書店

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

目次

大なる新願……小橋三四子
時事週評……
一人一評――下田歌子……
智慧に目醒めよ……文學博士 松本亦太郎
新年述懐……廣岡淺子
矢島楫子、安井哲子、三谷民子、井深花子、
田中芳子、日向きむ子、井上秀子、弘田由己子
柳八重子、大村嘉代子、
カルタ會と男女交際……宮川脩
三輪田元道、櫻井ちか子
風俗改良團の事業……澤田斬雲
東京の名物料理……鳳湖嵩伯
種々なお正月……西園寺新子
米野雅子、太田中子、廣瀬咲子、高津久子、
佐藤靜枝、山田みや子、
德富蘇峯氏愛孃の發心……
運命に弄ばれた象山の姪(一)……
余が養生法……澤田斬雲
オハナシ――正直の德……巣鴨村人
子供の智慧 生命を拾つて、ラムプを知らぬ、アンヨがハア
世界名女傳――女流作家エリオット……
全譯「何處へゆく」(一)……松本雲舟
時事……
新刊紹介、武藏野の一角に立ちて、聖パウロ、暗夜の星……
編輯室より……

大なる新願

小橋三四子

△新願は進步の挺

また年が明けました。天も地も若やかに心地よい氣分が漲つて居ります。かうして新らしい元氣を年々に盛り返へして行けることは、何といふ惠みでせう。人にも家にも「今年こそ」はと新らしい計畫と共に、切なる祈願がありませう。そしてわが努力を以て私共の精神上、或は境遇上に、嘗て無かつたものが增し加はつて行く事は、何よりも樂しいことであります。祈願は進步の挺であります。疑ひや恐れを以て、挺にかけた手に葵みが來ぬやう、注意したいものです。

△世界の日本婦人

過る御大典を機として、我が婦人界は維新以來の收穫を終へ、此處に一新紀元を劃して、希望豐かなる今年を迎へました。この冐頭に立ちて、漸く多事ならんとする前途の計畫を編む者の、第一に感ずる所は、もはや日本の日本婦人に非ず、世界の日本婦人として、國際的運動に加はらんとする必要の見えて來た事であります。米國の社會改良家として有名なるアダムス女史は、自ら會長となりて、將來開催されんとする平和會議を機とし、世界的婦人大會を催さうとして、既に日本婦人中よりも四五の代表者を指名して參つた由は既報の通りであります。婦人の力が加はつて、慘酷なる戰爭が一日も早く終局を告ぐるやうになる事は、平和を愛好する私共婦人の使命であつて、かやうな企てには協力一致して、出來る丈けの力を盡したいものであり、これがまた私共を次第に世界的に育て丶行く階段であらうと思はれます。

△婦人の心掛け次第で

國際的運動など丶云ふ事は、一般婦人の日常生活には非常に縁遠きもの丶如く思はる丶かも知れませんが、決してさうではありません。私共の心掛け次第で、有形に無形にこの運動に加はつて行くことが出來やうと思はれます。亞米利加邊では、女中や小僧に至る迄、外國傳道の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

爲めに、喜んで献金するさうであります。母親は子供の小使ひ帳に、献金の部といふのを作つて、小さい時から廣く他を助けるといふ念を養はせるさうであります。國家の微細な脈管にも、なほ世界的人種といふ血脈の通ふに至るには、どうしても婦人に先づこの精神が溢れて、これが家庭に、また子女に及ぼされて行く外ありませぬ。

△先づ器を大きく

私は嘗て貧民窟を訪問した時に、彼れ等貧民は無代の空氣や光線迄も、充分に取る事が出來ない生活をして居るのを見て、この上なく哀れなことに思ひました。彼の「貧すれば鈍する」といふ諺の通り、彼れ等は無代のものをもなほ盛る器が無い程に、その心身が萎微して居るのであります。日本も決して貧しきに非ず、私共はまづわが心身を啓發して、その器を大きくする事が出來たら、盛るべきものは四邊に充ち滿ちて居り、やがて大國民として雄飛する折が來やうと思はれます。

時事週評

▲平和の希望　昨年も世界は戰雲漆々たる内に暮ました。今年は是非平和の曙光を見たいものです。昨年末獨逸皇帝病篤しとの報に接して、世界の平和は全然獨逸の不利の裡に來るやうな感じがしましたが、其の報知もどうやら嘘らしくなつてしまひました。けれども交戰國の財政狀態はさう長くは戰爭を續けられぬ筈ですから、今年は何んとか目鼻がつくでせう。交戰國の人達が一昨年までの平和時代を回顧したら、眞に隔世の感があると同時に、交戰の狀態に居る事の馬鹿〳〵しさを感ずることでありませう。いかに騎虎の勢とはいひながら、何百萬の人命と何百億の戰費とをかけて、獲る所はなんにもないといふのは、いかにも情けないではありませんか。

▲平和回復と婦人　世界の平和を回復するためには、もつと婦人が世界的に活動することが必要であります。恤兵や看護の やうな消極的活動に留まらず、戰爭が

二

人類の罪悪である事をもつと〳〵積極的に絶叫する必要があります。

謹んで新年を祝し
併せて讀者諸君の
御祝福を祈る

婦人週報社

小橋三四子
松本雲舟
薄田斬雲
臼井龜雄
近藤浩
大村嘉代子
柳葉清子

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

（一）（人）（一）（評）

下田歌子

▲實踐女學校では、昨年から校舍新築の寄附金を募集中である。重に生徒の父兄を勸誘してゐるさうであるが、其のやり口が中々に面白い。何十圓以上を寄附した者には、校長下田先生の作歌を自ら筆を染めて書かれた扇子を賜はる。それよりも少額の者には、矢張同じ歌を木版刷にした扇子を賜はるさいふのだ。かう聽いて見ると、下田さんは確に雲上人と同le格である。生徒の父兄が其の御墨附の扇子を有難がつて、ごし〱金を出すさいふから妙だ。

▲下田さんは生徒を操縱することがいかにも巧妙である。一人〱を自分の部屋に呼んで「お前、一人が賴りだから」といふやうに說きつける。それ故まだ單純無垢な生徒は「先生は私一人を可愛がつて下さる」ものと誤信して、隨喜の淚をこぼす。其故に若し他の人が自分と同やうに、先生から可愛がられてゐる事が發見されると、嫉妬の情がむら〱と起る。

▲實際下田さんは人の魂を奪ふだけの魅力を持つてゐられるらしい。接近する者は誰でも囚はれてしまふ。實踐女學校の敎師などで下田さんを冷靜に批評しやうなどいふ大それた考を持つ者は一人もない「私共は下田先生のやうに人を德化することが出來ませんから」といふのが、敎師達が生徒に對する常の言分である。實際彼等には德化と魅化との間の區別が分らなくなつてゐる。天下斯る魅力を有する者、女には下田さんあり、男には飯野吉三郎がある。何者の惡戲か知らぬが此の二人を並べて考へやうとするのは、意味ある事である。

▲現代の婦人で、下田さんほご種々評判の立てられた女はない。あらゆる罵詈讒謗は下田さんの身のまはりに蝟集しても下田さんは依然として、婦人界の一角に其の勢力を保つてゐる。父兄など、どうして實踐女學校に其の子女を託するかといふに、動機が頗る面白い。「下田さんはあれ位惡口を言はれても平氣で社會的勢力を保つてゐられる。何處かに偉い所があるのだ。だから、お前は下田さんの惡い所を見習はないで、偉い所を倣ふがよい」と。かういふ考の父兄が世の中に在する內は、實踐女學校は萬々歲である。

▲實踐女學校の校長で終へたくない、もう一度大舞臺で活動して見たい、これが下田さんの現在の心狀である。九重の奧深くに日參して居られるのも其のためである。明治年代に政治的に死んでゐた大隈伯は、大正の御代に復活して大活動を試みて居られる。矢張明治年代に婦人界から退いた下田さんが、大正の御代に復活が出來るかごうか。これは面白い見物である。

▲要するに接觸する一人〱を情を以て魅せんとする所、これが下田さんの特徵だが、これは婦人敎育家の型ではなくつて、所謂娼婦の型である。女としての性を巧みに利用して、雲を起し雨を呼ぶやうな千變萬化虛々實々の藝當を演じられる所、正に舊時代の婦人の最大なる遺物と申すべきであらう。（くも）

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

智慧に目醒めよ

文科大學教授 文學博士　松本亦太郎

我國は明治以來益隆盛の運に向つて居る。此時代に於て婦人の須らく求むべき事は何であるか人に依つて答ふる處は異るであらうが、余は今日の婦人は熱心に智慧を求むべきではないかと思ふ。

△英獨の婦人の知識

第一社交生活に於て婦人が位置を得て人より認識せらるゝには智慧が必要である。試に英國或は獨逸に於ける中等の家庭にある婦人を觀察して見れば、知識の程度に於て日本の婦人より高く、知識の包容に於ても日本人より豐富である。例へば政治上、社會上或は經濟上の諸問題に就て相當に確實なる知識を有してゐる。文藝藝術上の鑑識及び批評に於て相當に意見を有して居る。旅行見聞上の知識は可なり豐富であつて外國の事などに就て相當の知識を有して居る。又是等の諸事項に就て多少は研究的で材料を集めて居る婦人もある。要するに社會の精神的方面の潮流——所謂文化の流れに、婦人が常に參加し世の中の興味を豐かにして居る。

△小主觀を脱せよ

日本婦人が社交生活中に表現する所を見ると知識の程度は低く、其内容は空虛でなければ貧弱である。尤も一二の女子は雜誌などに隨分諸問題を論ずるけれど、尚ほ物の見方が一面的、或は自己の好惡に失する嫌がある。然し斯る女子さへ餘り多くは無い。女子が社會的位置を求むるには、先づ其見聞知識を擴めて自己の城廓となし、或は感情に籠城する如き狀態より脱し、共通的の性質を有する知識を有し、共通的に興味を感ずる者となる必要がある。言ひ換へれば今日の女子は、特殊的の心の狀態から脱して、比較的普通的となり、主觀的より脱して稍客觀的となる事が必要である。エマーソンが言つた如く「智慧の眼が開けて宇宙の法則を讀む」と云ふ樣な女が多くなれば、社會の品位は高尙になるのである。

△一身一家のためにも

第二に一身一家を確實に保存するにも此智慧が必要である。最近に於て我々の最も著しく感ずる事は社會各方面の事物の進歩の急速なる事である。各實際家各有識者は社會の狹き一局面に於ては、指導者となり先輩となつて居るが、社會全體の潮流は常に一個人の先に進み一個人を率ゐる趣がある。否社會全體の變遷は洪水の如く、個々人の立脚地を押し流さんとし、或は一家の立てる基礎を動搖せしめつゝある。若し、一個人なり一家族なりが、此社會變遷の流れの何たるかを見極むる事が能す、唯單に過去の傳習を是れ守り、而して此變遷の新狀態に自己を適應させる事を知らないで居るならば、忽ち自己の立脚地を失ひ、或は一家は死解するの運命を免るゝ事が出來ないのである。我々の知つてゐる範圍内でも社會の進歩に順應する事が出來なかつた爲め、一個人としての位置を保つ能はずして失脚失敗した男女は隨分澤山ある事を見聞する。或る場合には妻女がもう少

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

し社會の組立を知り、或は多少でも道徳法律上の知識を有つてゐたならば、其夫の破滅を防ぎ得たであらうと思はるゝ事もある。又社會と順應する道を知らなかつた爲め、名家舊家など稱るものが、破滅すること甚だ多きを認めざるを得ない或は母親などが世の進歩を知らない爲め其子女を如何に指導す可きやに就て、見當を付ける事が出來ないで迷つて居る事が隨分多いと思ふ。

△男子との競爭

今後に於ては社會變遷の激流は如何なる性質かを見透す智慧を得て、其激流に對し、一身なり一家なりを如何に適應さす可きかを見出さねばならぬ必要が益々多くなつて來る。生存競爭が男子の間にのみ行はれた日は、既に過ぎ去つた。今は女子の世界に此競爭が侵入して來た。男は女を覆へし女は女を覆へさんとして居る。斯る狀態に於て女子を救ふものは智慧の力である。『爾等蛇の如く敏くあれ』とは此間の消息を傳へたものである。愚なる女は其身を破る、愚なる娘は其父母を傷ける、愚なる妻は其夫を陷れる愚なる母は其家と其子孫とを破滅せしめざれば止まない。『富を得さへすれば家庭は存立する』と云ふものは、問題の十分の解釋ではない。『智慧を得さへすれば家庭は存立し得る』と云ふ方が適當である

△國家の發展上

第三、更に進んで考ふれば一國の發展に智慧が最も必要である。我日本が東洋諸民族中に比較的大なる光明を放つて居るのは、昔から日本民族は汲々として智慧を求めて日も尚足らざる有樣があつて、今日に至つた爲めである。初め衣食住に關する智識を高麗百濟に求め、道徳政治を以て國を組織する智慧を支那に求め、精神的に廣大且深玄ならんために哲學宗教に關する智識を印度に求め、遂に自然界の力を利用する智識を西洋諸國に求め、殊に明治の初めより今日に至るまであらゆる智識を世界に求めた。斯くの如き智識を應用して内外の刺激要求に應じたるが爲め、日本は愈々生命の輝きある國となつたのである。今後の我日本をして、東洋は勿論歐米諸國に重きをなさしむるに至る原動力の一は正に此智慧の力である。

△智慧の火を燃せ

日本民族は今日よりもモ一段道徳的に向上する事が望ましい、もう一段宗教的に向上する事が望ましい。併し今日の時世より見て最も望ましき事は、日本人がもつと智慧を求め、津々浦々に至るまで、山の奥の奥に至るまで、日本が智慧の光りを以て輝くに至らん事である。余は曾て羅馬のカピトル山下のフォーラムに遊んだ事がある。あの處にヴェスタの神殿があつた。ヴェスタは女神で火の神家庭の神である。希臘羅馬の時代には人民の深く歸依する所となつた。そしてヴェスタの處女なるものが神殿に居つてヴェスタの神火を絶えず燃やす役を務めたのである。余は今日の女子に家庭内或は社會内に智慧の火を絶えず燃やす事を好め、日本の家庭と社會とが、智慧の火、道理の光を以て常に明るく光るに至らん事を希望せざるを得ない。女が智慧の味方になれば日本は益智慧ある國となるのである。新らしき女とは如何なる女であるか、十分に了解出來ないが、智慧ある女が入用である。智慧ある女が日本には增す事により大正の御代は益々其光輝を發するのである。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新年述懷

一精神上生活上今年より實行又は改善したき事
二昨年讀んで興味若しくは敎訓を感ぜる書物
三今年讀まんとする書物

○廣岡淺子

一、私は信者になりましてから、五年かゝつて「此處だな」といふ處が略解りました。今年からは更らに希望といふ事を、益々研究して、これを高め、これを追ひ求めて參りたいと思ひます。

二、昨年中隨分種々の書物を讀みましたが、何と云つても聖書に勝るものは無いと思ひます。然し强いて他の書物に求めますれば、栗原基氏譯の「イエスの人格」といふ書物に、啓發せられた所が多かつたと思ひます。

三、本年から更らに讀まうとする書物はやはり聖書です。

○矢島揖子

一、老年者の自覺を愈々確實ならしめんとす、即ち若年者に對する尊敬の精神を根本として各々の立場に從ひ、その精神を具體化せしめんため目前小事に努む。

二、日々「聖書の友」の目錄に從つて閱讀する聖書の中に最も偉大なる敎訓と最も深甚なる興味を覺申候

三、聖書の中以賽亞哀歌を是非閱讀せんと存じ居候。

○安井哲子

一、來年よりは一層仕事を規律的にして讀書と敎會行とに今少し多くの時間を作り出だし度しと存じ居候。

二、本年は主として自分の仕事に關する專門的の書物を讀み申候故一般の參考には相成り難しと存じ申候。

三、來年に於ても職務上の必要より矢張自分の仕事に關する書物を讀み續くる事と存候。

○三谷民子

一、別段變つた事を考へて居りません、たゞ今年の失敗をくり返へさぬように又成す可き事は力を盡して致したいと思ひます。

二、あんまり讀みませんでした、知人の學士方がダンテ研究會を組織して居られる御仲間入りをさせて頂いた事が面白う御座いました、其れから齋藤勇さんの飜譯された聖フランチエスコ傳は譯物と云ふ感をあまり持たずに讀めたのが愉快でした。

三、獨逸語を一生懸命に學んでハイネの詩集が讀みたい、然しドーモ希望丈けで終りそうです。

○井深花子

一、如何にしてわが持てる僅かの時間を有効ならしむべきかといふのが新年の問題で、それには己のが精神力をもつと旺盛にしなければならぬと、昨年讀んだ書物の中で强く感じたのでございます。

六

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

二、その書物と申すのは、アリス・パーマーの傳であります。この婦人は米國の教育者で餘り身體が丈夫でなかつたにも拘らず、未婚の當時から、結婚後も教育に從事し、強い精神力を以て、人一倍の効果を擧げたのであります。

三、お恥しい話ながら、來年讀まうとする書物は、まだ定つて居りません。例年クリスマスに亞米利加の友人等から送られる書物も、目を通しかねるといふ有樣で、元來餘り讀書しません事を自白致さねばなりません。

○　田中芳子

一、一生懸命に善く働き度存候。

二、石田新太郎氏著「新時代の青年」高島米峯氏著「噴火口」嘉悦孝子氏著「怒るな働け」東郷昌武氏著「一家無駄省略法」等

三、學習院輔仁會編纂乃木院長記念錄

○　修氏夫人　宮田多賀子

一、精神と思想上共に改善の希望を持居候ことと限りなく候へども、先づ右實行の準備として勇氣と活氣とに滿てる日常生活に入るべき願ひに御座候。

二、ユーゴーのミゼラブル（戸川秋骨氏譯）ハンキンの醒めたる女（坪内先生譯）安價生活（額田博士著）別々の意味に於ていづれも深き感動を得申候。

三、其の何たるを問はず、なるべく多く讀むを目下の急務と存じ候。

○　日向きむ子

一、常に思想する事と實行とを出來る丈一致させさつぱりした輕い氣分で時每に力に滿ちた生を自ら味つてゆけるやうな生活に今一そう深くふみ入りたいとおもつて居ます、しかもむづかしい理窟をぬきにした極自然な美はしいかたちでそれを實現實行したいとおもつて居ます。

二、碧巖錄、ハイネの詩、伊勢ものがたり、山家集、源氏物語帚木の卷、一茶の俳句集。

三、今一寸是と申上げかねますがあまりかたいものよりは、美しい神秘な物を餘計によみたいとおもつて居ます。

○　井上秀子

一、事務多端の折柄、思考の浪費と失念を省く爲に必ず每日其日の出來事は其時其日に處理すべき事。

二、エマソン論文集。

三、英文學を探究せんとしつゝあり。

○　弘田由巳子

一、人と人との間に混雜を來したり、己れの人物を小さくしたり、人に迷惑をかけたり、いろ／＼なこんがらかりをつくる原因は、十中八九、嫉妬心と競爭心であると存じます。殊に婦人間に於て、最も深く之れを感じます。故に少なくとも、修養の第一歩として、此の卑劣なる競爭心や、己れを傷づけ、人を害して、猶且つ悔ゆる事を知らない樣な嫉妬心だけは、無き者となりたいと考へます。

此の頃男女共に、言責を重んずる者、稀になりたるは、歎かはしき事でムります。婦人が人間としての品位を認めらるゝ迄には、先づ自己の言責を重んずる事が、肝要であると存じます。年と共に、責任の重き事を感じます。身には「底ひなき淵やはさわぐ山川の淺き瀨にこそあた波は立て」といふ古歌の心を以て、朝夕のいましめと致して居ります。

二、白河文學士の「諸葛孔明」大好きであります、小川直子刀自の「竹の下枝」誠にあり難き御教訓と存じます。森槐南先生の「唐詩選評釋」御丁寧なるが、誠に嬉しく拜見致します。

三、まだ考へて居りませぬ。

○　柳八重子

一、眞實を以て貫く生活といふことを只今殊に強く思ひます。

二、高村光太郎氏の「印象主義の藝術とその運動」に大なる教訓を得ました。「婦人文庫」一節用編中にある習字の心得を說いた一文をまことに興味深くよみました。

三、大多利たけ子さんの男女對等論を先づ讀まうと存じて居ります。

○　大村嘉代子

一、考へる時間を充分につくりたいと思ひます。

二、二匹の小馬（野上やへ子）法成寺物語鳥邊山心中等を興味を以てよみました。

三、聖書

七

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

カルタ會と男女の交際

識者はどう見てゐる

自由に遊ばせよ

成女高等女學校長 宮田修

△優美な遊戲

かるた會に就ては、樣々の批評をしますが、私自身の考へまた經驗では、さう八ヶ間敷く申す必要はないと思つて居ます。或る人は歌留多の歌が惡いとか、體育上惡いとか申しますが、歌留多は我國の遊戲として、最も優美なものであると思ひます。勿論あの中には若い人達の情をそゝるやうなものも無い事はありませんが、歌留多を拾ふ短い間に一々其の歌の意味を味ひながら拾つて居る者は殆ど無からうと思ひます。もし歌留多會に於て惡い結果を生じたとするも、その人達はそこに會する前既に其の準備を作つて居たもので、その會が根本の原因ではありません。又或る時は友人等に誘はれて知らない人達の中に交つて歌留多を取つたのが因で、知り合ひになつて親密な交際をするやうになることもありますが、歌留多會は唯紹介したといふ事だけで、そんなに深い處にまで責めを負ふべきものでも無いのです。世間には毎日同じ道で行きあつたのがもとで、遂に交際するやうになつた等いふ話が澤山ありますが丁度歌留多もその位ゐの程度のもので、さう避けてばかり居ては、往來を歩く事も出來なく無つてしまひます。

△男女を強くするため

門戸を閉じて置かなければ、不安であらうといふやうな弱いものでは非常に危險が多いのです。またそれ程にしても弱いものは、直ちに誘惑に陷るものですから、もつと強いものにならなければいけ無いと思ひます。元來男女といふものは自然に相接近すべき性を有して居るものですから、あまりにそれを抑へて置くといふことは決して當を得たやり方では無いと思ひます。或る程度迄は自由に交際させるといふことが、若い人達を導いて強くする一の方法だと思ひます。

△監督は不必要

歌留多會に監督を附せよと主張する方もありますが、監視つきの囚人のやうになりては、一向興味が湧かないのみならず、娛樂が却つて非常に窮屈なものになつてしまいます。私共生徒を相手にしてやります時なども、全く敎師といふ觀念を離れて、友達といふ考へを以てやることに勉めて居ります。一家庭に於ても老人が讀んで、子供達が拾ふといふやうな團欒といふ意味に於て致しますのは、善いかも知れませんが、少なくとも監視されて居るといふやうな感じのもとに行ひ度くはないのです。まだ經驗の淺い若い男女を、知らず〳〵の間に健全に進ませるといふことは、年長のものゝ常に心掛くべきことではありますが、出來るだけのんびりと畏縮して表面を繕ふ僞善の心

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を若い人達に持たせ度くありません。唯其のために夜更かし等をしがちになりますが、體育上にも害の多い事ですからその點だけは注意して頂き度いと思ひます

國民的な遊戯

三輪田女學校教頭　三輪田　元道

△國體的な價値

此問題は二つの方面から見る事が出來ると思ひます。第一は遊戯としてのカルタの價値、第二は其の取り方如何であります。元來日本には國民的遊戯の上乘なるものが甚だ尠ない。ボートレースもテニスも玉突も甚だ振はない。在來の遊戯と云へば子供のもので、青年男女が興味を以て遊び得る遊戯としては唯カルタがあるばかりです。遊戯には競爭と協同と二つの心の働きを起させるものでないと完全とは云へませぬが、我國にはカルタの外に此二要素を具備したものはないと云つてもよいでせう。其他の遊戯は個人的であつて團體的價値がない。

△無精な老人共

けれども、取り方と歌の批難は昔からあつた。戀歌があるからいかぬと云ふけれども、古色のついた歌で隔世の感があるから、別に肉感を刺戟するやうな事は先づ無い。そして取り方如何と云ふ事も家庭の監督さへ適當に行はるゝならば、そんなに憂ふるに足らぬ事と思ふ。家族制度の國を以て誇る日本で此位な監督は立派にやつてもらはねばならない。由來日本の老人は甚だ無性で、都合のよい時ばかり家長だの保護者だのと威張りたがつて其責任は兎角おろそかになり勝です。若いものがカルタを取ると云ふ時には、自分等も一所になつて遊ぶ、そして監督すると云ふ樣にならねば困ります。カルタなんぞは若いものゝ遊びだなど云つて、自分等は居眠りをして居る樣では家長保護者としての責任は盡せるものではありません。男女打まぜて遊ぶと云ふ事が問題であるならば、男は男、女は女のみで遊べばよい、其れは何れでも自由でよいと思ふ。何れにしても監督さへ適當に行はれたならば何等の弊害も起らないばかりか、日本の國民的遊戯として之ほど面白いものは他あるまいと思ひます。

唯一の交際會

櫻井女塾長　櫻井　ちか子

かるた會は日本の窮屈な社會に許された唯一の男女交際會と云つてよいと存じます。しかも他の塲合と異つて、多くの男女が同席で樂しむのですから、割合に弊害は少なからうと存じます。勿論夜を更かしたり、監督者が無かつたりしてはいけませんから、さういふ點に注意してこれを土臺に將來立派な男女交際が開けて參ることを希望します。かるたの歌詞に就て如何を論ずる人がありますが、情調に訴へる間もない程に、遊戯するのですから、今迄ので差支へないと存じます。

九

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

風俗改良團の事業（一）

薄田斬雲

前號誌上に私は社會改良風俗改良を促進する捷徑として團體力を利用するの急務を述べましたが、扨て如何な點を改良すべきかの具體的方案が必要になります。之に就て四方の誌友及び社内同人から出た諸案を左に列記します。

一、贈答品の改良
二、婦人の電車コート
三、主婦の買出し
四、衣服の改良
五、婦人股引の工夫
六、女子の帶
七、宴會の和洋折衷
八、夫婦共稼ぎ主義
九、國産の食料を取寄せる事
十、自ら流行の中心となる事
十一、錢湯の湯槽に寒暖計を設くる事

△贈答品の改良

第一の贈答品の改良には種々の案があります、冠婚葬祭の贈物の中、現金を用ゐられるのは葬式の香奠丈けです、他は多く品物です、處が東京では贈品に對して必ず答禮をする、香奠に對して茶や風呂敷の答禮は貰つた金額の半分なり三分一なりを返すので別に損がありません。併し出産の場合、産衣など貰つた返禮は大打撃です、直ぐ必要もない物を貰つて此方からは別に買つた品物の答禮をする之は餘計な損害に當ります、金の有り餘る貴族富豪が驕奢をてらう爲めの習慣で之を中流家庭に及ぼすに至つて愚の最たるもの何か出費の多い事故發生の際知友相助ける意味で物品を贈るは一種の共同扶助法で結構ですから贈る事は好いとして之に對する答禮は廢する習慣を作りたいと云ふので、之は團體の勢力で決行するに最も適した仕事です。次に盆暮れ二期の贈答品ですが、之は餘りに儀式一片です同價格の物を贈つたり、貰つたり、つまりは損得なしで、使ひの俥夫に儲けさせる丈けです、どうせ俥夫に儲けさせる位なら季節伺ひには手拭一筋、半紙三帖を以て、一日閑を潰して主婦が知人の宅を一廻り顔出しした方が好いでせう、若し又強いて品物を遣り取りするのならお國自慢の何か珍らしい物を郷里から取寄せて贈答し互に珍品の交換と云ふ事にしたら生活か多趣味になつて結構でせう。

△婦人の電車コート

第二の婦人の電車コートと云ふのは婦人が外出の際の砂塵除け、且つ電車内に於ける一種の甲冑の意味です。東京の樣に煤煙やら砂塵の多い處では折角の晴衣も形なしです、其爲めに婦人はコートを着ると仰有るか知れませんが、皆さんのコートは決して砂塵除けの甲冑でなく一種の贅澤な、見えを飾る晴衣です、何れも分不相應の立派なものを着て居られる譯です、御亭主と一喧嘩しなくては買へない品物と見受けます。そこで新案電車

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

コートと云ふのは低價に出來る木綿物の丈夫なコートを作り、之を手提げ袋に入れて持つて歩き砂塵の烈しい場所へ出會はしたら直ちに着る、又電車へ乗る時に出して着ると云ふのです、電車が込む時出口入口で揉み合ふと婦人の衣服が破れるのが能く見えます、我々男子も夏、絽の羽織を着て電車に乗ると、蟬が數原を運び歩く様な氣がします、婦人の衣服は電車内の戰爭に堪へません、又、土工や魚屋、ペンキ屋などゝ隣り合つて車内に坐る事も災難でせう。で電車コートの工夫が必要なのです。夫れには防水布にして木綿で造り、色は黑なり靑茶なりにし襟か胸に法官服の様な飾りでも付けたら大して見惡からぬ甲胄コートが出來るでせう。一旦流行したら皆な〱喜んで之を眞似るでせう、日本人は他人の眞似に巧みな人種です。

△主婦の買出し

辛抱の極意は一圓二圓の買物に恐れずに、唯だ一錢二錢の浪費を注意する事です、試みに買物の日記を付けて御覧なさい、跡形も殘らぬ二錢三錢の買物が大部分で、塵積つて山となるの結果に驚かれるでせう。爐邊に居眠りして、八百屋、魚屋の當てがい物を高價に買つて居ては金錢の貴重なる事にも氣付かず、且つ賣れ殘りの惡い品を食ふ事になります。日常必須の食料品を細かく胸算用して買ふ様になると、余計な贅澤品の爲め、浪費する習慣が止みます。されば日常品を自ら買出しに行く事は主婦として眞に辛抱強い人間とならしめ、且つ、品物の良否を鑑別せしめ、又食品の種類をも廣く知らしめ、從つて料理の工夫を案出させます。若し其店で買つた物を手に提げて來る事が厭やなら直段を極めて、後で届けさせても好い、近い通りの八百屋魚屋で始終取り付けると、直ぐ届けて呉れます

東京の名物料理

楓湖畫伯談

△衰へた名物料理

近頃は非常に澤山の料理店が出來て、神田、淺草、上野邊には隨分ありますが、多くは書生相手の食物やか、それで無ければ飲む方の側で、眞に料理を味ふと云ふ人が少なくなつたのでせうか、料理を工夫して客を喜ばせる處も比較的少なくなつたやうです。而し今日でも安然として食ひ味を落さないのは、濱町の小常盤でせう。これに續いては、赤坂の三河や、烏森のはまのや又は中華等がいゝでせう。

△老人夫婦の老舗

世間に知れて居ない店で、實にお甘しいものを食べさせるのは、中橋の裏手に島村といふのがあります、妙な庫の間の小さな道を這入た極狹い店ですが、老人夫婦で一人の女中をも使はないで、唯だ食べさせる一方なのですから、通人より外には知らないのですが、それでも常に一ぱい客があります。中庭の向に奇麗な座敷があるのに、なぜ通さないのかと思つてよく見ますと、隣の家の座敷だつた等と云つて、笑つた事がありましたが、暫らく參りませんから只今はどんなになつて居りますか。も一つは横山町の尾張やといふのがありますが、これも島村と同じやうで極地味なそして薄暗いやうな家ですが、維新前からそこでやつて居りまして、あなごの蒲焼は東京第一です。それから椀盛が非常に得意ですが、外のよりやつぱりお甘しいやうです。

△蒲焼の甘い家

私はうなぎの蒲焼が大好きで、方々で食べ通りましたが、[illegible]からにて居ますが、四橋の「一新川」の方が一層上手で、焼き方に云ふに云はれない旨味を持つて居ます。淺草の「まへ川」は第二次に位ひするでせう。

△餡もので名高い家

餡ものは菓子では上野の空や、本郷の藤村、しるこは茅町の「やまとや」に限ります。いやな甘味が無くて上品な味を出す處は、外にありません。殊に粟ぜんざいはとても他店で出來ないと思ひます。

十一

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

初春　池田蕉園女史筆

種々なお正月

珍らしい各地の風習

儀式張らぬ

侯爵令嗣夫人　西園寺新子

私共は書生の寄合ひですから、新年でも別に儀式張つた事は致しませぬ。殊に父も八郎も形式的の事が大嫌ひで、八郎なども意地になつてお正月には寝巻を着て居やうなど、申すので、朝寝でもする位のものです。以前は正月には靜かな田舎へ旅行などを致しましたが、昨今は子供も多くなり、八郎も宮内省にお務めして居りますので、何やかや御用がありますもの故、大抵東京で過します。朝揃つてお雜煮でも頂きますと、子供達は學校の式に出かけますし、私は高輪の毛利の母に挨拶に參る位で、他の親族同志の訪問などは、づつと落付いてから致して居ります。

をけら詣で

京都市　茅野雅子

お正月と申しますと、第一にをけら詣での夜の事を思ひ出します。市内は勿論近郷の家々では、元旦のお雜煮をたく爲めに用ゆる火を、大晦日の夜祇園神社の大前に、焚かれて居る篝火を貰ひに行くのです。衆人は各々用意した麻の火繩に火を取つて、途中で消えない爲めに、振り廻しながら歸つて行きます。四條の橋も三條の橋も、今宵ばかりは火繩で埋たやうで他處で見られぬ異觀です。

蚊帳から起きて

臺灣　太田幸子

お正月とは寒いものと小さい時から印象されてゐた私達は、蚊帳から起きて祝ふお正月は何だか物足りないやうな氣が致します。何分日本の涯から涯までの寄

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

合ひ風習は個々別々ですが重に東京本位と關西本位の二つに別れます。何にしろ家では、ネルに羽織又紺絣の人さへあるのに、回禮する人には、紋附の重ねに羽織といふ有樣で、大急ぎで歸宅して、團扇を使ふのは嘘ではありません。併し目出たさに變りはなく、どこの家でも祝ひの氣に滿ちてゐます。

舊暦で祝ふ

朝鮮　廣瀨吹子

朝鮮のお正月は支那と同じく舊暦で致します。三日間は決して仕事を致しません。飲んだり騷いだりするので御座います。別に感心するやうな風俗も見當りません。やつぱり子供は奇麗な着物を着ます。そして凧などを揚げて居ります。

靜かな冬籠

諏訪　高津久子

此村のお正月は松飾もせずに迎へられるのでございます。元日の朝には、定つた家に村中の戸主が集ふて、新年會が開かれます。其席で老人のお話が若いものを喜ばせます。すつと前の新年會の時に「明年は酉の年で今年は取前（酉前）の年だから、遣前よりも結構だ」など丶申した人がありましたが、田舍の質朴なところを現して居ると存じます。

此新年會よりも早く、村の信者だけが早天祈禱會を開かれ、神に依つて此新年を正しく暮したいと願ふのでございますが、村の新年會が祈禱の誠心もて開かる丶時は何年後でございませう。まあ此邊のお正月は初春の賑ひと申すよりも靜かな冬籠と申したい樣でございます。

△呑氣なお正月

信濃　佐藤靜枝

北信も南信も日本一の養蠶地で五、六、七、八、九、十の六ヶ月は農と蠶とで非常に忙しいのですが、十一月から四月まではまた甚だ呑氣な生活に入るのです。心あるものは其期間、靜かに讀書したりして、有益な月日を送りますが、先づ普通の人々は炬燵と茶話とを毎日の課業として居ります故、京阪などで見る事の出來ない呑氣なお正月を迎ふるのです。

正月二月は「ネマリ」と云ふ冠詞を付して、ネマリ正月、ネマリ云々といふて正月の飲み喰ひの爲めに中等以上の家庭の主婦は、無益をして之が爲めに其金を費ひ、終日炬燵の中にあつて命令するやうな、實に不自然な生活、穴熊生活を續けて居りますので、宗教は勿論、教育の普及し居らぬ事甚だしいものでございます。私共北海道より轉居して來て、其因襲に捕へられて居る主婦等を見て、實に遺憾と思ふて居ります。

△豆まきと成木攻

岩手縣　山田みや子

今年初めて當地のお正月をするのでよく存じませんが、當地の人から聞いた内で面白いと思つたものをお報いたします

一、正月十五日の夜煎豆の皮を桝に入れて家のまはりを「豆ヌカモホザ／＼錢モ金モ飛ンデ來イ、ヤングレ飛ンデ來ル」と云ひ乍ら廻ります。

二、成木攻めと云つて、同夜二人で桃、梨、柿などの木に到り、一人は斧を持つて「成ルカ成ラヌカ、成ラネバ斬ツテシマウ」と云ふと一人は木の下に居て、成リマス／＼と云ふのださうです。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

德富蘇峰氏 愛孃の發心

救世軍に入る

△少女の入隊式

舊臘十二月一日、神田の青年會館に救世軍の入隊式があつた。其節一人の花恥かしい令孃が、熱心なる調子で信仰を告白して、其の一兵卒となることを誓つた。名を德富ひさ子さんといつて、其のお父さんは誰あらう、我邦評論家の重鎭として新聞界に名聲嘖々たる勅選貴族院議員たる蘇峰德富猪一郎氏で、其の叔父さんは不如歸で有名な蘆花氏である。「德富さんのお孃さん！」「蘆花さんの姪！」といふやうな囁きは、救世軍人の口から口に傳つて、皆驚異の眼を以て百合の花の如く淸い彼女の姿を見守つたのであつた「まだ昨年華族女學校を卒業なすつたばかりださうでございます」と女士官が言つた。「虛榮の中心のやうに思はれてゐる華族女學校から……」と男の士官が奇蹟を面の當り見たやうな顏をした。

△意義ある生涯

蘇峰氏は社會的活動に忙しい身であるので、信仰には、極めて淡泊な態度を採つてゐられるが、つる子夫人は、敬虔の念に厚い方で、毎朝の家族禮拜を勵行し、信仰的に子女を教育してゐられた。其のために久子さんも小さい時から、靈南坂の教會に通つて日曜學校の生徒として、讃美歌や獨誦が得意であつた。稚い其の胸にはイエス樣の姿がまざ〳〵と刻みつけられてゐた。其の心の願を神に祈るを常とした。かやうに培養はれた信仰は感傷的な妙齡になるに從つて益々大きく生長した。其故學校を出て、家庭の人となつてからは、毎日曜缺かさず、靈南坂の教會に出席した。罪！罪！罪！久子さんは此世のものが凡て罪の影を持てゐるやうに感じて來た。唯溫かい家庭に平和な生活を送つてゐることが無意義に感ぜられた。もつと意味ある日々を送りたい。久子さんの小さい胸の想ひは、聖き或るものに對して波立つた。

△遂に志を達す

久子さんの家と親しい間柄である金森通倫氏は全く虛榮の生活を棄て、救世軍の軍人になられた。其の令孃の三壽子さんは女子高等師範を卒業して、お父さんと共に救世軍の兵卒として善き戰をして居られる。今久子さんの煩悶の胸に不圖浮んだのは、この三壽子さんの眞面目な淸い姿であつた「三壽子さんのやうになりたい。さうすれば、神のために働くことが出來るのだ」と久子さんは自問自答した。間もなく久子さんは、靈南坂の教會で、山室軍平氏の說教を聽いた。人の心に透徹せずんば止まざる其の熱烈な辯に、久子さんの魂は天外に飛んだ。「あゝ」と嘆賞を發するだけで、言葉は其の口に死んだ。「自分も救世軍に入らう」といふ決心は立ち所になつた。久子さんは其の決心をお母さんに打ち明けた處が、流石のお母さんも二の足を踏まれた。「嫁入盛りの身で……」とお母さんは考へ込まれたが、無碍に娘の心を抑へては

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と、お父さんにも相談して漸くお許しが出たので、久子さんはもう天にも登る心地、此頃は毎日救世軍に通つて憐れな者のために働いて居られる。華族女學校の同窓會にも救世軍の制服を着て來られるので、皆其の篤い信仰に感心してゐる。

運命に弄ばれた 象山の姪（一）

孤兒負債に苦しむ

安藝呉の片ほとりに些やかなる住居をかまへて、三味線指南の看板をかけた女世帶一人の家がある。その家の主は鼓も踊も堪能なる上にかゝる商賈にあり勝ちな卑しい性もなく、親切に稽古するので町の氣受けもよろしくお弟子もなか〳〵に多い。未だ四十にもならぬ女の獨り住居、而も、出入の男もなければ、夜泊りもせぬ樣子に口善惡ない隣人が「お獨りではさぞお淋しいでしやうに」と樣子探らんと問ひかけるを「さうでもありません」と優しくは云へど心の奥には人に語られぬ傷手があるらしい。その家名を小松と云つて維新の志士

△佐久間象山の姪

である。象山を叔父にもつ小松がところもあらうに本州の端なる安藝呉の片ほとりに三味線渡世の侘びしい女世帶一人の生活をするに付ては傷ましい運命の數奇がある。彼の女は幼にして父を失ひ、次いで傾く家運に心を痛めた母は間もない重い病床の人となつたが、この時にはもう醫藥の料にも差し支へる苦しさであつた。小松は意のまゝにならぬ悲しさに幾度か袖を絞つたが若い女一人の身では如何とも出來ないので、母には告げずに自分の着物を一枚持ち出して米鹽の料に代へ、二枚賣つては醫師を招いたりしてひたすら母の快癒を祈つた。が飽く迄冷やかなる運命の神は遂に彼の女の手からその母を奪ひ去つた。彼の女は身も世もあらぬ思ひに母の死骸を抱いて泣き暮れたのである。が氣丈な小松は斯くてもあらずと心ばかりの葬儀を營んだ。

かゝる悲しみに獨り生き殘つた彼女の家には更らに多くの負債があつた。七七四十九日の法會がすむと彼の女は飄然として郷里を立ち去つた。債權者の手に金が返つたのはそれから二ヶ月後であつた。

△數奇なる運命

備後の尾の道（或は糸崎）から風光明媚な瀬戸内海を經て四國に渡航する海上には翠松をいただいた幾多の島嶼が點々として散在してゐる。風も靜かになぎ渡つた碧海の上に散在してゐる之れ等の島嶼はあだかも一點の雲もなく澄み切つた秋夜の空に星を見るが如く例へやうもなく美趣を添へてゐるのである。今治通ひの小汽艇が尾の道を發してから凡そ三時間も經たころ、汽艇は靜かに港の入口に停泊する、稍々深く島に喰ひ込んで彎曲した港には漸く汐がかりする幾多の汽船、帆船の影がのどかな水に洗はれ、背面は翠松生ひ繁げる小山に包まれて、見るからに眼も晴る計り美しい港で、その名も優しく木の江と云はれてゐる。木の江は備後に屬する周廻七里に足らぬ島である、が、四國通ひや中國通ひの船が汐がかりするので附近の港では比較的繁榮を極めてゐるが殊に商人や船員相手の罪の家がなか〳〵に盛大である。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

余が養生法（承前）

薄田斬雲

△胃は定量の食物を要す

「所謂胃弱、溜飲と云ふのは、多く食ふから悪いので、少しつゝ幾度にも食ふが好い」と云ふ説もありますが、私の實驗では之が甚だ不快です。三度の食事を五度にして御覧なさい、何んだか極りが付かず、のべつ空腹を感じて、のべつ飯を食ふて居る様に思はれて、うるさくていけません。それに、胃は或る適度の食物を満たさなくては十分に消化作用を營み得ない様です。八分目に食ふ位は好いが、之を五分目六分目にして御覧なさい、箸を措いた刹那から空腹の感じがして、其の癖、何時迄經つても善良な幸福な食慾を感じません。化學者に頼んで人間一食の分量を蛋白質、脂肪質、含水炭素など、分析し、其分量丈けのものを集めると普通餅菓子位の大きさになり、後は皆んな水だと言ふのです、處で此の餅菓子大の成分を食ひ、後は水を二合なり三合なり飲んで結構營養を保つて行かれる筈だから、扨て實驗して見たら胃の具合が變で、とても堪へられなかつたと云ふ話が外國の新聞雜誌に報告されたそうです、胃は食物を充満させないでは快適に消化作用を行ひ得ない様に出來たものだらうと思ひます。

△奇怪な一種の恐食病

私は東京に居ると日常繁瑣な用事や、不時の外出や、訪問の必要などから、思ひ切つて腹一杯飯を食ふ事が出來ません、詰り食ふて居る間は好い氣持だが、腹一杯食ふと消化力の乏しい胃は、壓重を感じて苦しくなる恐れがあるのです、處が、夏、海岸へ行つて野生的な生活を送る時には、社交も訪問もなし、一日寢て居られると云ふ安心からして、思ひ切つて腹一杯食ふて見るが、一寸胃が重苦しい様だ、胸がやけたりしても、四五時間經つと、甚だ善良な食慾を覺えます、何んでも、私の胃は六分目に物を食つても九分目に食つても、同量の胃液を分泌するらしい。で、六分目の時、胃液が過剰になつて、作用すべき食物を得ず、胃は自らの胃液を持余して苦むのと思はれます、そして弱い胃は、少しの刺戟を受けると忽ち多くの胃液を分泌するのでないかと思はれます。時には夜半目を覺まして、胃が痛い程の空腹を感じて居て朝起きると、胃に何か一杯膠様の汁が溜つて居る様な感じがするのです、之は、空腹になると、食物を入れなくとも、私の胃は胃液を分泌し、爲めに自ら苦むのだらうと思ひます、私は一種の恐食病に罹つて居る様なものです、胃病者は、特に溜飲の人は大膽に悪食する位の度胸を据ゑ、積極的に養生を考へず、消極的に不養生をせぬ程度の療法を取るのが本當でせう。胃病は恐がつて食はないと猶ほいけなくなるから、食つて癒す様にせよと云ふのが適語です。

▲腹が空かぬ時は

私は非常に空腹を感ずる時と、又、大して空腹を感せぬ時と同量の食物を攝取して、前の塲合、却て胃の具合が悪くなり後の塲合にはズッと具合の好い事があります。之は前の塲合には空腹の度を過

十六

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ぎて胃液の分泌や消化作用が調和を失ふのだらうと思ひます。些とばかり食ひ過ぎるよりも、空腹の度を過ごす事は大害を來すと言ひます、暴食の胃病は治し易く、極度の空腹から起る胃病は治し難いそうです、デ、クインシーの鴉片を喫んだ告白の中に、彼は貧乏して空腹を極度に忍んだ結果、胃病を起して胃壁を鼠にでも嚙まれる樣な激痛を感じ、其の苦痛を凌ぐ爲めに鴉片を喫み始めたと書いてあつた樣に記憶しますが、餘り空腹を我慢すると、黄疸にかゝつたり胃の雜病を起したりします。

處が、食後五六時間經つても、とんと腹が空かない事があります、之は胃の中で酸敗して居るのでせう。私は此經驗に苦められて醫者に相談したら、其んな時には鹽湯を飲めと言ひました。鹽湯は軽く胃を刺戟し酸敗して滯つて居る物を腸へ送り込むと云ふのです。私は此の鹽湯を試みて好結果を得て居ます、朝飯前に鹽湯と言ひますが、何にも朝飯前に限らず、時分になつてとんと空腹を感せぬ際には鹽湯を茶椀に一杯も飲んで眞の空腹を來す迄待つて居るに限ります。

正直の徳

巣鴨村人

新しい年を迎へて、坊ちやんも、孃ちやんもお目出たう。今年は何にか一つ、私共一同に守りたいものですが、皆さん、いかゞでせう、嘘をつかないといふことは、いつも正直に眞實のことを言ふ。これが今年出來れば、誠に立派な事と存じます。で、唯今嘘をつかないで、眞實の事をいつたばかりに、危ない所を救かつて、偉い人になつた子供のお噺をいたしませう。

昔ペルシャといふ國では、子供はいつでも嘘をつかないで、眞實の事をいふやうに敎へられて居りました。家でも、學校でも、これは先づ第一の敎訓でした。

小さいオターネスといふ子供に其のお父さんが「臆病でなければ、嘘をいふものでない」と言ひました。

「眞實の事をいふは、美しいことだから、よく御守りなさい」とそのお母さんが言ひました。

オターネスは十二の歳を迎へましたので、遠い町にある有名な學校へやられることになりました。其の町までゆくには、路が遠くつて、隨分險呑でしたので、オターネスは恰度そこへ行く商人の仲間と一緒に出かけました。

「それでは、オターネスや。常に大膽に、又正直になさい」とお父さんが言ひました。

「さやうなら、オターネスや、美しいものを愛して、卑しい事を遠ざけなさい」とお母さんが言ひました。

子供は商人達に連れられて、長い旅を初めました。駱駝に乘つたり、馬へ乘つたりして行きました。太陽が熱して、路が惡いので、そろ〳〵と行きました。

晩になると、突然一隊の盜賊が押し寄せました。商人達は戰ふことが出來ぬので、品物や金をみす〳〵持つてゆかれま

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

した。
盗賊の一人はオターネスを馬から引きおろして、
「子供、お前は何を持つてゐるか」と尋ねますので、「黄金を四十枚」とオターネスは答へました。
盗賊は笑ひました。こんな子供がそれほど澤山な金を持つてはゐまいと思つたからです。
「それは結構な話だが、何處に其の金を持つてゐるのか」と盗賊が言ひますので、
「帽子の中に、裏へ縫ひつけて」とオターネスは答へました。
「うん、さうか。あまり人を馬鹿にするな」と盗賊は言つて、金持の商人の方へ駈けて行つてしまつた。
すると又一人他の盗賊が來て
「子供、お前は幾ら金を持つてゐる」と聴きますので、
「持つてゐるとも、帽子の中に黄金四十枚」とオターネスが言ふと、「盗賊に戯談を言ふなんて、大膽な子供だな」と言つて、又別の人の方へ往つて了ひました。
やがて盗賊の頭がオタネースを呼んで
「お前は幾ら持つてゐるか」と言ひます
オターネスは答へました。「あなたの仲間の二人に、私の帽子の中には黄金が四十枚あるといつたのですが、眞實にしませんでした」
「帽子を取つて見ろ」
オターネスは帽子を脱いだ。頭が其の裏を裂いて見ると、黄金が四十枚隠れてゐました。
「どうして眞實の事を我々に言つたのだ」と頭が言ひました。「お前のやうな子供がこんなに黄金を持つてゐるとは誰も想ひはしないに」
「持つてゐて、ゐないと言へば、嘘をつくことになります。臆病の外は、嘘など言ひません」とオターネスが答へました。
盗賊の頭はこの答に吃驚しました。自分も、さういはれゝば臆病の中に入る者だと思つたからです。で、オターネスに恁う言ひました。
「お前は大膽な子供だから、其の金を持つてゐなさい。さあ、馬へ乗りなさい。私共はお前を護つて、無事に送り届けてあげるから」
オターネスは其後次第に成人くなつて偉い人になりました。

十八

子供の智慧

生命を拾ひに

「今度の歐洲の戰爭では、どれだけ生命を棄てる人があるか知れない」とお父さんがお客に話してゐるのを聴いてゐた敏雄さん(六つ)は、「僕も戰爭に行きたいな」と聲を立てました。「どうして」とお父さんが聽くと、「そんなに生命が棄てゝあるなら、僕は生命を澤山拾つて來る」。

ランプを知らぬ

毎日電氣だの、飛行機だの、自動車だの、モーターボートだのと言つてゐる文ちゃんは數へ年の四つですが、或る晩、電氣が消えて、ランプをつけられたのを見て、「マ、ちゃん、これ、なあに」

アンヨがバア

みいちゃんは滿二つですが、或る朝自分のはいてゐた足袋が切れて、親指が出たので「かあちゃん、アンヨがバアと言つてゝよ」。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

世界名女傳

女流作家 エリオット（一）

△仲の好い兄妹

「アダム・ビート」や「ロモラ」の如き幾多の傑作を出して、女の沙翁といはれたジョージ・エリオットは、實名をメリー・アン・エヴンスといつて、一千八百十九年十一月廿二日、英國中部の山間アービュリーに生れました。お父さんは、意志の強い信仰の厚い大工で、母は利巧な實際的才能に秀でた人でした。兄と姉とが一人づつあつて、兄とは大の仲好しで、相接吻する二つの蕾のやうに生長しました兄妹の毎日の仕事は門前を通る馬車を窓から眺めることでした。二人は牧場に漫歩きしたり、菫に覆はれた小川の邊で戯れることもありました。

女史はやがて姉と共に小學校に通ひましたが、内氣な性質で、他の子供のやうに快活に遊戯することも出來ず、常に教場の片隅に坐つて、姉さんの居る方を見てゐました。この内氣は性質は、女史の著しい特質の一つで、成長するに從つて、何物にも同情する一種の德性となつて、遇ふ人毎に深い感銘を印するに至つたのです。

女史姉妹は土曜日には家へ歸つて來ましたが、日曜には大好きな兄さんと一緒に、一週間の出來事を語り合ふのを何よりの樂しみとしました。

△幼兒の教育

女史が初めて讀んだのは、お父さんから貰つた紅雀の傳記でした。お父さんのお友達からも種々の書物を貰ひました。其の中にはイソップ物語だの、ジョー・ミラーのお伽草紙などがありました。女史はこれ等の書物を再三再四讀み返へして知らず識らずの内に稚い想像力を豐富にしました。それから稍成長くなつてからは、スコットやチャールス・ラムの物語、デフォーの「惡魔の歴史」などを讀みました。殊に「惡魔の歴史」は大に愛讀し、手づから之を謄寫したさうです。其の寫本は今でも殘つてゐるさうです。それからバンヤンの「天路歴程」、ジョンソンの「ラセラス傳」なども愛讀しました。

女史十二歳の時、コベントリーの女塾に通ひましたが、茲で佛蘭西語や獨乙語を學び、音樂に熟達するやうになりました。學校に參觀者があると、來客の前に引出されて、能く其の妙音を示させられたものでした。けれども女史自身は音樂の技能がないと想ひ、怯懼して演奏を避けるやうにしました。

△家事と讀書

女史十六歳の時、お母さんが病氣のために女塾を退學して家に歸りました。お母さんは其の翌年の夏此世を逝り、姉さんは他家に嫁いだので、女史は自ら家政を司どり、田畑を管理し、お父さんに孝養を盡しました。女史はバタを製造することが上手で、其の製造を毎日やつたので、左の手よりも右の手の方が少し大きくなつたさうです。女史は當時過度の勞働のために手が顫へて文字が書けず、其のお友達にやつた手紙は文字が歪んでゐたさうです。女史は裁縫を勵みて、幾分活計の補助をいたしました。女史は其の間にもシエークスピヤやクーパーやミルトンなどを愛讀し中づくウオーズオースの詩を愛誦して、自然の妙趣を味ひました。

（くも）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

全譯 何處へゆく（一）

松本雲舟

浴場の一

ペトロニウスは正午頃に漸く目を醒したが、例の通り大變疲れてゐた。其の前夜、饗宴でネロと一緒に夜深しをしたのであつた。此頃は兎角健康が勝れない。朝になると、身體が棒のやうになつて、思考をまとめる力も充分ないと愁訴してゐる。でも、沐浴をして、老練な奴隷から鄭寧にマッサージをされると、鈍つた血のめぐりが次第に早くなつて、氣分が快くなつて、元氣づいて來る。沐浴を終る頃には新人のやうに、若返つて、心も輕快に、眼は才氣に輝いて來るところ、オトーとて到底彼には及ぶまい。「趣味の審判者」といふ綽名は、誠にこの人に適はしい。

ペトロニウスは公立浴場に行くことが殆んどない。若し行けば市中の風評に上つた演説家の話でも聽くか、その大廣間で何か特別に面白い演技でもある時だけだ。日常は自分の屋敷にある私有の浴場を好んでゐる。それはセヴエルスの有名な同僚のケレルが彼のために擴げて建直してくれたもので、中々數奇が凝らしてあつた。皇帝の浴場はそれよりも大きくあるし、又金にあかして贅澤に設計したものだが、ネロ自らもペトロニウスの優勝を認めた。

ペトロニウスはヴチニウスの戯談に釣込れて、昨夜の饗宴の後でネロやルカンやセネカと一緒に女に靈魂があるかといふ議論の仲間入をしたのだが、前述のやうに晩く起き出でて、習慣の通りに入浴した。二人の大きな奴隷が、汚れのないエジプト布で覆つたイトスギの臺の上に彼を横にならせて、香油を兩手に漬して、擦り始めた。ペトロニウスは暫らく眼を閉つて、湯氣が暖まつて、奴隷の手の摩擦が身體に浸み込んで、疲勞が失くなるのを待つてゐた。

やがて眼を開いて、天氣を問ねた。それから寶石商のイドメニウスが見せに持つて來ることになつてゐる寶石のことを尋ねた。靜かな風がアルバン山から吹くので、天氣は大丈夫でせう。寶石はまだ持つて參りませぬと奴隷が知らせた。それと同時に、浴場に來客の名を告げる役目の奴隷が幕の後から現はれて、マルクス・ヴイニチウスの若殿が唯今小亞細亞から御還りになつて、參上されましたと告げた。

ペトロニウスは奴隷に命じて、客を通すことにしてあつた暖室にヴイニチウスを案内させた。ヴイニチウスは久しき前チベリウス時代の執政官マルクス・ヴイニチウスの妻となつた自分の姉の子である。コルブロの配下に屬して、息子のヴイニチウスはパアシヤ人と戰つてゐたのだが、今戰爭が終つたので、羅馬に歸つて來たのである。ペトロニウスは非常にこの甥を可愛がつてゐた。それはヴイニチウスが立派な逞しい男だからでもあらう。それから又樂しんで淫せぬほど優美な感情を持つためでもあらう―それはペ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

トロニウスが何物よりも貴しとした性分である。

「御挨拶いたします、ペトロニウス殿」と若者は大路に暖室へ入つて來て、「萬の神に、殊にエスクラピウスとキプリスの神が力を合はせて、貴君を御保護下さるのですから、どんな間違も御座いますまい」

「羅馬によく歸つて來た。戰爭後の骨休みは格別なものぢや」とペトロニウスは身體を包んだ柔かな布の裙から手を差出した。「アルメニヤから何か報知はあるかな。亞細亞に居る間に、ビシニヤには行かなかつたか」

ひと頃ペトロニウスはビシニヤの知事をしてゐて、堅實に公正に其の州を治めた。かういふ才能は放縱な豪奢な趣味で名高い人の性格には珍らしい對照ではあるが、ペトロニウスは國政を料理することが好きであつた。やらうとすれば出來ない事はないばかりか、必らず出來るといふ證據があるからである。

「ヘラクレヤには參りました」とヴイニチウスが答へた。「コルプロがそこへ私を援兵にやりましたので」

「あゝ、ヘラクレヤか！　私はそこでコルキス生れの娘と知合であつた。其の娘のためなら、ポッペヤだらうが誰だらうが、離婚女は悉く呉れてやるがな。でも、もう久しい前のことぢや。それはさうと、パアシヤ人について何にか報知があるかな。ヴオロゲセス、チリダテス、チグラネスといふやうな蠻族は茲にゐても、どうも氣になる。アルレヌスの言ふ所によると、何でも家にゐては二六時中四つん爬ひになつてゐて、羅馬人と居る時だけ、人間らしく振舞ふのださうぢやな。それだから羅馬では、他の話をするのは氣まりの惡いほど、あの蠻族の風評で持ち切りぢや」

叔父と甥浴塲にて語る

「この戰爭は想ふやうではありませんが、コルプロが居つただけで、敗軍に終らなかつたでさ」

「コルプロか。あれは正眞な戰神ぢや。正銘なマース神ぢや。大將軍兼癇癪持の無骨な鈍物ぢや。だが、私はあの男が好きぢや——それはネロがあの男を怖れてゐるからさ」

「コルプロは馬鹿ぢやありません」

「御尤もな次第ぢやが、要するに同じことさ。ピルロが言つたやうに、愚は智に劣らずぢやから、別段なこともないさ」

ヴイニチウスは尚戰爭の話をしやうとしたが、ペトロニウスは又眼を閉つたので、若者は叔父の疲れて凹んだ面に氣がついて、話題を變へて、心配さうに其の健康を尋ねた。

ペトロニウスはまた瞼をあけた。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

▽最近一週間の記錄△

◉皇后宮京都行啓内定　皇后陛下には御大典の砌り偶々御姙娠中の事とて御參列御見合せとなりしが御式場の御跡なりと御覽あり曠古の大典の如何に御盛儀なりしかを偲び給はん御希望にて多分來る三月上旬頃相州葉山の御避寒地より御出發あらせらるべしと

◉早速新副議長　花井氏の後任として中正會の早速整爾氏下院副議長に當選す

◉一夫一婦の請願　婦人矯風會長矢島揖子女史外千二百五十五名は代議士齋藤宇一郎氏の紹介を以て姦通科罰に關する請願をなせし處去月廿四日衆議院に受理せられたり其の要旨左の如し

婦女子の社會的地位向上に鑑み一夫一婦制度の本旨を完うせんが爲め婦女子が當然男子と同等の尊敬權利獲得の三要求を叫ぶことは宇内の大勢なり現行法は果して此の新要求を容れ居るや即ち二件に基きて民刑法の改正を行はれんことを望む

一、姦通とは有妻の男子他の有夫若くは無夫の女子に通じ有夫の女他の有妻若くは無妻の男子に通ずるをいふ

一、有妻の男子にして妾を蓄へ娼妓に接するは姦通なり

一、姦通の場合には其の配偶者の一方は離婚を請求し又離婚の請求と同時に相當の償金を請求する事を得

一、現行刑法第百八十三條の「有夫の婦姦通し云々」とあるを單に「姦通したるものは云々」と改正されたき事

◉支那革命軍起つ　北京に於て袁世凱が帝位に即かんと準備に忙殺されつゝある折柄廿五日雲南貴州の革命軍相應じて起ち帝制反對を宣言せり北京政府の實力を知れる將軍蔡鍔等が資金と威力を以て雲南將軍巡按使等を語らひ擧兵せるものにして事態容易ならざるもの丶如し新嘉坡にありし李列鈞及び其幕僚たる林營、方聲濤等は雲南に入りしと傳へらる

◉歐洲戰亂の經過　昨年中に終了すべしと豫想されし歐洲戰亂は逐に平和の光を見ずして本年に持越されたり昨年夏よりは波蘭方面に於てもバルカン方面に於ても獨逸側遙かに優勢なる狀態にあるも冬期に入つては兩軍とも大いなる活動は見る能はざるべし

◉英軍の死傷五十萬人　英國首相アスキス氏の言明する處に依れば十二月九日迄の佛國戰場に於ける英軍の損害は三十七萬一千五百十七名内戰死將校四千八百二十九名下士卒七萬七千四百七十三名行方不明將校一千六百九十九名下士卒五萬二千六百八十五名なり又ダ峽方面を除く他の戰場に於けるもの總計二萬四千〇十九名内戰死將校八百七十一名下士卒一萬九百五十三名なり而して一切の戰場に於けるものを合したる總計戰死十一萬九千九百廿三名負傷卅三萬八千七百五十八名行方不明六萬九千五百四十六名となると

◉獨帝危篤の噂　獨帝ウヰルヘルム陛下はポツダム宮殿に病み瀕死の狀態にありと噂さる

◉少女の戀と西班牙王　歐洲戰亂國間に介在する西國王アルフオンソー陛下は佛國富豪の一介孃より戀人が戰場に出て間もなく敵の捕虜となつて消息絶えたりとて中立國なる西國王に上書して一少女の爲めに戀人の在所を探し給へと嘆願され日頃女性に對して深き同情を有し居らるゝ事とて早速伯林駐在の大使に命じ令孃の戀人と稱する兵士の在所を探當てしめたる事とて交戰各國民より出征せる息子や戀人の行方を探し出して貰はんと陛下に上書せるもの五萬以上に達し日々千餘通の數願書は陛下の主宰される臨時宮中郵便局に受付けられ相當の調査をなしたる上廻答を爲しつゝあり今や西班牙國王は歐洲婦人界にて宛ら救世主の如く仰がれつゝありと

◉八阪丸沈撃さる　日本郵船會社所屬汽船八阪丸は舊臘十二月二十一日午後何等の警告なしに獨逸潛航艇の爲めに襲撃されて四十九分にて沈沒せり總ての船客並に乘組員は佛國砲艦に救助されたり

◉沈んだ百萬圓の金貨　沈沒せる八阪丸に積載日本へ輸送中なりし日本銀行正貨準備二億圓中海外に保管しありたる八千萬圓の内金百萬圓の正貨は海底に沒したりと傳へらる

◉塞國王從弟の慘死　塞國王ピーター陛下の從弟舊臘二十一日紐育市ヘラルド●スクエヤーに於て頭部を敷石に打碎かれ病院にて死亡せり、名をヘル・ン●メルホウイツチといふ今年五十歲なり其父たる塞國ジヨン親王は五十餘年前米國に移住しヘルマンは零落して目下或る大商店の運搬夫を爲し居たりしに廿一日晝飯の歸途一墺國人と口論の末突飛ばされて此始末となりしものなりと外電は報ぜり

◉在佛救護班滯在延期　豫て日本赤十字社より佛關西に派遣せし救護班の一行は舊臘十二月中旬を以て引揭げの豫定なりしが佛國政府より滯在延期を要求せられ更に五ケ月間同地に止まる事に決定せり

◉梅ケ谷の引退と斷髮　二十五年間の力士生活を棄てて年寄となる名力士横綱梅ケ谷は舊臘十二月廿三日瓜生大將の鋏にて斷髮式を行へり

◉郵便貯金盛況　御大典紀念の郵便切手貯金は二十六萬二千百三十五圓に逹せり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新刊紹介

●武藏野の一角にたちて（別所梅之助著）

内村鑑三氏此書に序して曰く、「世には剛毅く見えて優柔い人があります、優柔く見えて剛毅い人があります、此書の著者別所梅之助君は第二種の人であると思ひます、君の容貌と文體とは優柔くありますゝ然し乍ら君自身は剛毅い人でありますゝ君の衷には一物の動かすべからざる者があります、君も亦今や僅かに稀れにのみ殘れる所の舊い日本人の一人であります、基督教を信じ、基督教會に在ると雖も、舊い日本人の魂を失はざる貴むべき我同胞の一人であります」と。能く此著者の人物を言ひ現はした語と想ふ。

本書は「春淺し」以下、著者の小品を集めたものでいづれも淸新な氣に滿ちてゐるゝ附錄には、著者が信仰に入つた經路を趣味深く書いた迷宮が載せてある。それは著者の半面とも見るべきもので、此種の自己告白の中では出色の文字である。それを讀むと、著者の懷しい姿が鮮かに現はれて來る。氣の落着いた時に又氣を落着けるために、讀むべきものとして本書を江湖に勸める。（定價壹圓京橋區銀座警醒社書店發行）

●聖パウロ（齋藤勇著）

植村正久氏の序に曰く、「マイアズの詩は想深く、情濃かに氣韻高く、パウロの人物と其の宗敎とを傳へて精を窮め、微を穿ち、屢神秘の境に出入せり、曾つて此の小册子を讀みしとき、幾多の浩澣なるパウロ論を涉獵するに勝れるを覺えたり」と。本書の價値は此の序文につきてゐる。

由來英詩の意味や其の香を邦字に直すことは至難の業である。今本書を讀むに譯者が苦心の跡は歷々として現はれてゐる。邦字は英字のやうに意味の深長を缺くがために、著者自身もさぞ困られた事と想ふ。兎に角斯る深邃な宗敎詩が邦譯されて、然も賣れゆきがよいといふのは日本の讀書界のために慶賀に堪へぬ次第である。（定價五十錢麹町三丁目丁未出版社發行）

●暗夜の星（宮川經輝著）

宮川經輝氏の「暗夜の星」「光なき所に蔭なし」「理想と實現」の三の代表的說敎を編輯したもので其の熱烈な說敎の面影がよく現はれてゐる。編者廣岡女史は本書の序文に於て、「私は奮鬪的の生涯を送つて參つた爲、柔かく暖かい愛の心、寬忍の念に乏しいので、動もすれば、人々より權威を好む强烈なる人間の如くに敬遠されますので、恩師は常に此點に就て注意を與へて下さいました」と言つてゐられる。廣岡女史を現在ほどへり下る者とした宮川氏の雄辯は眞に貴いものである。（警醒社書店發行）

編輯室より

▲多望多幸なるべき大正五年を皆様と共に迎へましたのを御喜びいたします。▲本誌も茲に第二卷第一號を出すこととなりまして、愛讀者の多數の御希望から斷然新たな改善をして、四六二倍形といたし、紙數を増し體裁を一新して、皆樣にお目にかゝりました。今後は皆樣の机上にあつても散逸する樣な事もなく、保存にも甚だ便利になりました。▲内容に於ても松本博士の研究的論文に始めとして、本誌手傳の詩人月見に疑問の人下田歌子女史を論じて餘す所がありません、柴舟氏の「何處へゆく」は必ず讀者諸君の愛誦を添ふるを存じます。柴舟氏は英詩と獨乙詩との双方を對照して居ますが、獨乙語の方が簡潔で判りよく啓發される所が多いといつてゐます。▲第十二頁に載せてある淺子廣岡女史筆の「新春」に、女史が特に本誌の爲めに下されたもので、あります。此は實に女史の熱心な陰のいたします。▲本誌に最も必要なものは讀者諸氏のものとして、出來る丈本誌を御利用下され皆樣の御意見なり御感想なり御詠草なりを御發表下する樣に御願いたします。そして本誌の大改善と共に讀者を廣く求めたいと存じますについては皆樣の御友達御知合の方々に本誌の主義主張に御賛成のお方々を御勸誘下さるなお願いたします。▼本誌表紙は近藤浩一氏の苦心の作であります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

社告

新年を迎ふると共に、讀者諸君の御勸告に應じまして、新聞型から雜誌型に變更致す事に致しました。今後大發展を試むる準備として此變更を御諒察下さる事を切望致します。御覽の如く表裝に印刷に製本に今までよりも費用がかさみますので、今年から定價を一部に就て五厘値上げをさせていたゞきます、但し昨年中御申込になりました諸君には昨年十一月より今年十月まで一年間は前の通り一年分貳圓で差支へ御座いません（新らしい定價表は奥付に記してあります）

人事相談所

口本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、職業上其他有らゆる相談に應じ、無料にて最も善き解決を與へます。但し費用を要する御相談は實費を申受けます。

口本所は絕對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財產調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依賴に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれには依賴者が至當と想はれる程の低廉な調査料を申受けます。

口本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社內（電話番町四五六六番）

人事相談所

●婦人週報定價（毎週金曜發行）

壹部 金五錢（但し郵送料五厘を含む）
一月 金貳拾錢（四部又は五部）
三月 金六拾錢（十三部）
半年 金壹圓拾錢（廿六部）
一年 金貳圓貳拾錢（五十二部）

●本誌廣告料

特等（表紙の二、四） 金參拾圓
壹等（表紙の三、白紙前付） 金貳拾五圓
貳等（色紙の表側） 金貳拾貳圓
參等（色紙の內側） 金貳拾圓

注意

▲御註文は一切前金の事▲郵券代用は必ず一割増の事▲送金の爲替宛名は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

發行兼編輯人 小橋三四子
印刷人 小橋三四子
印刷所 東京市京橋區銀座四丁目一番地 福音印刷合資會社東京支店
發行所 東京市牛込區市谷田町二丁目十七番地 婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新女界

◎今度の議會に於ける外交問題　吉野作造

■婦人の手に俟つべき政治問題　安部磯雄

■外に出でよこの聲を聞きつゝ　井深花子

◎新年の所感　安井哲子

■新年號出來！

◎新生の歡喜　海老名彈正

■アメリカにてのクリスマス　植村たまき

■詩人コウパーとメリアンヴィン　林靜太

◎現時社會に於ける混亂狀態　海老名みや子

ほしの光（裝幀）　鈴木憲子

ほゝえみ（口繪）　栗原玉葉

あかつき（短詩）　野口精子

■目ざめ（小說）　廣田花崖

■トムターの訪問　阪本花代

■ダビデの村へ　菅笠夫

■サンタクローズ　倉橋惣三

■師走の家より　社中同人

■クリスマスの御馳走　手塚かね子

定價　一月分　金十二錢　六月分　七十二錢　一年　一圓四十錢

發行所　東京市小石川區林町四三　新人社　振替東京一四〇〇五

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

京都染物

御誂御好に應じ御古物染直しにても御新らしき品同樣美麗にいたし候

あらいはり、しみぬき、ゆのし、

右之通迅速を旨とし精々入念廉價に調進可仕候間多少に拘らず御用向被仰付度偏に奉願上候

宮内省初め女子大學校の御用を承り居候

東京市本郷區湯島新花町八番地（靈雲寺門前）

井筒屋支店

中村榮次郎

電話下谷五六七四

御注文の節は御一報被下候へば早速御伺可申候

主筆 別所梅之助

護教

▼毎週 金曜日發行 見本贈呈

▼定價 一部 四錢五厘（郵税共） 三ケ月 五十五錢（同） 一ケ年 二圓（同）

▼本誌は明治二十四年の創刊に係り、日本基督教會三大機關紙の一つなり。

本誌の内容

▲社説は時事問題其他の眞摯なる主張にして▲論壇には内外名士の名論卓説を掲ぐ。又▲研究及び想苑は諸般の眞面目なる論究にして▲信仰之友に於ては美しき信仰生活の反映を見るべし。其他▲雜錄藝苑家庭の諸欄ありて趣味と教訓とを兼ね、信徒、求道者及び一般修養に志す者の好伴侶、好手引たり。尙全國一般の教勢を知るに便す▲本誌の編輯は別所梅之助・倉長巍・石坂龜治其他の數氏是に當り▲寄稿家には、平岩愃保・高木壬太郎・山田寅之助・山鹿旗之進・吉崎彦一・舟橋雄・釘宮辰生・三浦泰一郎の諸氏ありて之を助く▼

▲毎月一回、第一金曜日發行の護教に附錄として添ふ。

▲されど、附錄のみの注文（但十部以上）に應ず。定價左の如し。

護教附錄

傳道

定價（郵税共）

十部	廿五部	五十部	百部	二百部	三百部	五百部	一千部
十二錢	二十五錢	四十五錢	八十錢	一圓四十五錢	二圓	三圓	五圓五十錢

▼傳道は四頁の月刊附錄にして、平易なる神學、信仰實驗談、及聖書の簡易なる講義等、内容に富み、趣味を兼ね、求道者及び傳道用として眞に好適なるものなり。今回豫想以上の部數を出だすに至りしを以て、紙質を改めると同時に定價を減じたり。

發行所

東京赤坂區青山南町五丁目四十五番地

護教社

電話芝四六七九番

振替東京二五六九

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

謹賀新年

●呉服物の御取次!!!

西陣織物
京染物一切

其他

▲丸帯類 ▲關東織物
▲琉球物産 ▲尾州織物
▲白地綿布類 ▲毛織物

等凡ての呉服物を、迅速薄利で問屋からお取次を致します

主として御婚禮の御仕度そのほか附屬品一切（御調達を御引受け充分に）御便宜を計りますゆゑ何卒御用命下さるやう御願申上ます

△電話又ははがきにて御一報次第直樣持參いたします

麹町區飯田町六丁目十三番地

菅野田鶴
（電話番町二三四四）

謹賀新年

一 上毛磯部鑛泉利用 罐詰 おこし
一 同 罐詰 煎餅
一 同 鑛泉 饅頭
右は自製品
一 京都名產鹽製 木箱又はボール箱入 いんぎ豆

右品精々調進仕候敬白

東京市小石川區江戸川町
大曲電車停留所前

稲川堂

謹賀新年

日比谷
クリーニング商會

本店 東京日比谷公園停留場際
（電新三一〇八番）

支店
東京赤坂區田町五ノ八
横濱市元町一丁目（谷戸坂）
大連伊勢町十六 電話九五二一番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

●日向きむ子著

銀と藍

（好評）

四六判美本 定價八十五錢 送料八錢

新生活告白文

●道徳を超越せる才媛の靈筆！！

▼彼女は虛榮の婦人に非ず。三越にも白木にも足踏をせず、牛乳や香水の風呂にも入らず『檜御殿』にも住はず。

▼彼女は病人や貧者を憐むため簞笥のものは一つ二つと減らして今は所謂る光榮ある清貧の生活をなせり。

▼彼女は忍入りたる强盜に人道と信仰を說きて、悔改を迫り、その盜賊を善心に立歸らせたる宗敎的の賢婦人也。

▼彼女は良人の不幸にも意氣を沮喪せず、其の轗軻不遇の境遇にも惡びれずして丈夫の如く健闘を持續せる也。

▼彼女は銀色の月光と、藍色の海洋とに因りて其詩情を染めたり。其艶麗なる告白文は當代罕に見る絕品也。

●詩歌あり小品あり評論あり趣味は溢る！！

▲新春の讀物▼

著者	書名	冊數	定價	送料
マイアーズ 齋藤勇譯	◎聖パウロ	一	五〇	六
櫻井大尉	◎肉彈	一	七〇	八
同	◎銃後	一	一五〇	八
櫻井鷗村	◎リンコーン物語	一	一二〇	一二
龜高博士	◎化學と人生	一	一八〇	一二
故元良博士	◎心理學概論	一	三八〇	一六
日下部重太郎	◎國語百談	一	七〇	六
新渡戸博士	◎折にふれ	一	一二〇	八
同	◎英文武士道	一	一〇〇	八
櫻井鷗村	◎歐洲見物	一	一七〇	一二

發行所 東京麴町三丁目 丁未出版社（振替東京七八四七）

定價壹部四錢五厘 郵送料五厘

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA